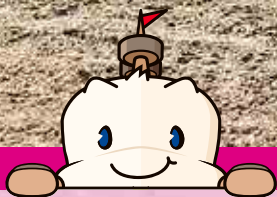


# かわさき 議会の情報



「サンファンくん」

「Jリーガーを夢みて」

24P

意見交換会  
商店企業策の充実を

18P

貸し付けに賛否

8P

町政を問う  
ふるさと納税・道の駅でPRを

2P

意見交換会  
真剣にまちづくりを



# 真剣に考えて



意見  
交換

対話で町づくり

支倉台行政区

11/14 開催

意  
見  
交  
換

町内の団体や行政区のみなさんと意見交換会を開催しました。

ここでは、支倉台行政区のみなさんと資源をいかす会のみなさんから出された質問や意見の一部を紹介します。

また24ページには、商工会との意見交換会を掲載しています。

なお、意見交換会での意見は、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。また、調査・検討した結果は「かわさき議会の情報」で随時お知らせします。

話題の  
「政務活動費」は

問 議員の政務活動費はないのですか。

答 当町はありません

政務活動費はありません。仙南地域では白石市・角田市・大河原町・柴田町・丸森町があります。政務活動費や議員定数・報酬については、村田町・蔵王町と調整しながら、早期に統一の結果を出したいと考えています。

定数議論その後は

問 議員定数に関した議論がされました。人口の割合に対し、議員が多いとの話でしたが、その後はどうになりましたか。

来年度に議論する

答 各地区の声が町政へと届かないのではと、いった懸念などから、現状維持という結果となりました。来年度に特別委員会を設置し、議論したいと考えています。

# 『これから』を



意見交換

国道286号に  
意見が集中したよ！



## 意見込みに 差があるの

**声** 国道286号説明会資料は、仙台市のもので、県が川崎町で示した資料に相違がありますが、意見込みの違いでしょうか。これが工事結果に響かないように希望しています。議会も県に要望してください。

## スピード感をもって

**声** 工事期間が長すぎるのではないですか。国道286号の早期完成に、町と議会と町民が一体となって要望してほしい。スピード感をもって対応をお願いしたい。

## 着工を早期に

**声** 調査や予備設計に係る費用を増額すれば、詳細設計を前倒しできると思います。工事着工を早期にできるように要望をお願いします。  
**継続要望します**

**答** 工事に関しては、県と市が足並みをそろえることが必要です。町の財産となりますので、着手ではなく早期着工を国、県、市にお願いしています。議会としても継続要望していきます。

# とダム湖周辺 有効活用を提案

## 町の将来の考えは

**問** 町の人口は、少子化にともない9000人割れに危機感をもっています。町の将来について考えはありますか。

**答** 各種事業を行っていますが、抜本的な対策となっていないですね。国道286号整備での、仙台のベッタウン化に期待していますが、どのようなしたら良い方向へ進めるか、みなさんとともに考えていきたいと思っています。

## 在宅診療は

**問** 町の在宅診療は積極的に進めているのでしょうか。

**答** 病院でも在宅診療に力をいれています。現在30人が受診しています。

## 企画立案を議会で

**声** 人口減少に対する考えは、交流・移住・定住などに至るプロセスを考えてはいいかがですか。この町を選択してもらえらることを考えて提案してほしいと思います。

## 働く場を

**声** 60歳以上の就業率が高い県は秋田県です。働く場の確保が必要ではないですか。

## 整備・修繕を

**声** 支倉台メイン道路の植栽整備や道路側溝の蓋がないとか、階段の手すりも直してほしい。防火水槽を増やしてほしい。

## 地域振興例えは

**問** 地域振興策として、ダム周辺の利活用を提案します。例えば、大学の漕艇部の合宿所やサイクリング・マラソンコース・遊歩道、釜房山の展望台などの整備をしてはいいかがですか。

## 町も対策検討中

**答** ダム湖周辺道路を利用した催しは、国道使用の規制があり難色を示されました。公園を利用したマラソンが良いと思いますが、コースは、川内側の県道を利用する計画で進めている状況です。

## 温かい給食を

**声** 学校給食のごはんは、週に3回家庭からごはんを持参しています。忘れてくる子どももいます。子どもたちにも温かいごはんを食べさせてあげてください。



▲「ダム湖周辺の有効利用を」

# 町の資源



# 要望

# ● 提案の窓口を

# NPO法人資源をいかす会

# 10/26

# 開催

## 会の方針

川崎町の自然と資源を活かし、その豊かな自然を守りながら100年後に私たちの子孫が「食とエネルギーを100%自給」し、楽しく豊かな暮らしが実現できるように各々が得意の分野で歩き続けることを宣言しています。

現在会員数 180人

## 取り組みと今後

・2号水車製作の取り組み

目的：1号水車設置により資源の有効利用を図り広くPRされました。

○事業期間：平成28年度から29年度（平成28年3月水利権更新時期）

○製作上の課題：事業費の調達（町などの補助を要望）。

## ・水車の増設

自然エネルギー（空気や水を汚さない）の良さを再認識し、再生可能エネルギーへの関心を高揚。また、国道286号北川の河川公園に設置し観光資源として活用していきたい。

## ・売電事業への発展

発電スポット、高効率設備の選定、低コスト管理ができる施設、可能な限り箇所数を多くする。課題は多々ありますが、売電事業への発展を進めたい。

## まとめ

これまで様々な取り組みをしてきましたが、町民へのPR、情報提供不足があります。

まちづくりに自然をいかした取り組みをしている「資源をいかす会」の活動など町で開催するイベントなどへ参画し、町民の方々に見ていただきたい。また、会の提案など取り入れていただきたいと思っています。



# 12月議会

全て可決

意見書提出

# 対策

12月議会は、12月6日から9日までの会期で開きました。

町より提案された条例改正案件4件、補正予算案件3件、議員発議案件4件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では7人が町政を質しました。

## 自治体格差の見直しを

宮城県の子どもの医療費助成について県に対する意見書採択を求める陳情書が提出されました。



付託※

## 総務民生委員会

### ■審議のあらまし

県内の乳幼児医療費助成の現状は、市町村ごとに制度が異なり格差が生じています。子どもを安心して産み、育てるには制度の安定が必要であり、県の支援が不可欠です。制度の拡充は自治体の負担を軽減し、県政による被災地支援につながるものと考えます。

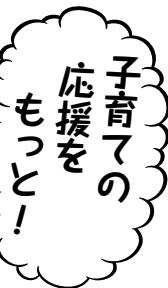
### 審議結果

## 採択すべきと判断

## 宮城県の子どもの医療費助成について

## 県に対する意見書採択を求める意見書

提出先 宮城県知事



6月15日からの第356回宮城県議会において、乳幼児医療費助成制度の通院助成年齢を就学前まで拡充する方針が明らかになった。しかし、中学3年までの拡充を望む市町村の要望に照らして、拡充幅があまりに小さいと言わざるを得ない。

県内市町村は、自治体間で制度が異なり、住む地域によって助成内容に格差が生じている状況にある。

子どもを安心して産み、育てることができ、社会の実現を目指すには、制度の安定が必要であり、県による支援が不可欠である。

県の乳幼児医療費助成制度の拡充は、自治体の財政負担を軽減し、県政による被災地支援につながるものである。

よって、宮城県におかれては、当面、県による子ども医療費助成制度の助成年齢を中学3年生まで拡充されること、所得制限を緩和または撤廃されることを強く要望する。



▶県も拡充を

※付託とは、本会議の付議事件について詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会または特別委員会に審査を託すことをいいます。

# 医療費拡充・駆除

## 補助増額と広域化に

有害鳥獣（イノシシ）駆除対策に対する補助の増額および広域連携の制度化を求める意見書採択を求める陳情書が提出されました。



付託

## 産業建設教育委員会

### ■審議のあらまし

各自治体がイノシシ対策にさらに力を注ぐことはもちろんのことですが、旺盛な繁殖力と生息域が急速に拡大していることを考慮すれば、隣接自治体および捕獲隊等が連携し、広域的な「面」で対応していくことが必要な段階に入っているのが現状です。

よって、県鳥獣被害防止総合支援事業交付金の増額と、隣接自治体間および各捕獲隊等の有機的な広域連携の制度化を、県に強く要望します。

### 審議結果

## 採択すべきと判断

## 有害鳥獣（イノシシ）駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書

提出先 宮城県知事

被害  
防止を



▲広域的な対策が必要では

イノシシの生息域は拡大の一途を辿っており、宮城県内においては丸森町が生息域の北限と言われていましたが、現在では県北部までに広がっています。イノシシ個体数のさらなる削減、農産物被害軽減及び人的被害防止を実現するよう、以下の事項を求めるものです。

記

### 1 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金の増額について

年々増加するイノシシの個体数に対して、捕獲数も大幅に増加しておりますが、狩猟免許取得者及び箱わなの絶対数を増加させなければ、効果的且つ切れ目のない対策が困難であるため、狩猟免許取得促進と捕獲機材購入費のための予算増額等の拡充を求めるものです。

### 2 隣接自治体間及び各捕獲隊等の有機的な広域連携の制度化について

増大著しいイノシシの個体数を削減するためには、隣接自治体間及び各捕獲隊等の有機的な広域連携をすることが大きな効果をもたらすと思料されることから、自治体間の捕獲隊が密な情報交換を行い、有機的な連携を取ることのできる制度の創設と、必要な予算措置を求めるものです。



## 7人の議員が質問

# 町政を問う

- ◆ **佐藤 昭光 議員** ..... 9
  - (1) セントメリースキー場の今後
  - (2) 指定管理制度の考え方
- ◆ **沼田 長一 議員** ..... 10
  - (1) ふるさと納税
  - (2) 本砂金水道事業対策
- ◆ **神崎 安弘 議員** ..... 11
  - (1) ドローンで活性化を
  - (2) 意見交換会を踏まえ
- ◆ **的場 要 議員** ..... 12
  - (1) 観光総合窓口としての道の駅を
- ◆ **大沼 大名 議員** ..... 13
  - (1) 空き家バンクの取り組み
  - (2) 医療福祉センター駐車場
- ◆ **高橋 義則 議員** ..... 14
  - (1) 放射能汚染廃棄物の焼却
  - (2) スクールバスの乗車緩和を
- ◆ **佐藤 達也 議員** ..... 15
  - (1) 学校給食サービス充実と減塩化
  - (2) マイナンバー申請と利用現況は

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



# 問 温暖化、スキー場どうする

## 答 堅実な運営続けていければ

**問** セントメリースキー場は昨年度、雪不足で2000万円の赤字となりました。町は500万円の融資を決めました。温暖化が進めば同じ事態の再来もあり得ます。スキー場の将来への考えを伺います。

**答** 町長

開業27年目の今期、入り込みが7万人あれば累計200万人。地

域経済に大きな役割を果たしており、堅実な運営を続けていければと思っています。

**問** 町長はかつて、スキー場不要論を展開していたと耳にしました。が真意は。

**答** 町長

議員時代、負担が大きすぎるとして「撤退すべき」と発言しました。

**問** 指定管理者は圧雪車や乗用草刈り機、防犯灯など3000万円相当を町に寄付し、また毎年約100人の雇用、8年間で8億を越す売り上げを記録しています。冬の観光拠点としての役割を考えれば、真剣に支援を考へるべきと思いますが。

**答** 町長

これからも堅実な運営を続けていければと思っています。

# 問 指定管理施設、老朽対応は

## 答 最低限の補修をしていく



▲指定管理者の㈱ゆらいずが町に寄付した圧雪車(上)と乗用草刈り機(下)

**問** 町の3つの指定管理施設は根付いていると思いますが、どう評価していますか。

**答** 町長

頑張れば事業者も潤い、安定して発展する運営をお願いしていく考えです。

**問** 施設はごも老朽化が進んでいます。今後指定管理制度をどう生かしていこうと考えられていますか。

**答** 町長

財源を探して最低限の補修をしていきたいと思っています。



▶黒字が続く青根・じゃつぽの湯



佐藤 昭光 議員



沼田 長一 議員

## 問 予算達成のための方策は

## 答 クレジット決済も可能に

**問** 平成20年度から始まった「ふるさと納税」は地場産業の活性化、雇用拡大につながる有効な制度になると思っております。昨年度は、全国的に寄付額が増えています。当町の取り組みについて伺います。

**答** 昨年度に比べ寄付額が300万円増の予算額です。達成のための新たな方策はありますか。

**答** 町長 現在の手続きに加え11月よりクレジット決済が可能となりました。



◀ 返礼品の一例

**問** 寄付額を増やすためには、魅力のある返礼品の品揃えが必須と考えます。現在何品目ありますか。また9月に新規募集を行ったようですが、応募はあったのですか。

**答** 町長 現在41品目となっています。応募はありません。町の魅力をアピールする、最適な返礼品を増やしたいと考えています。

## 問 濁り対策は

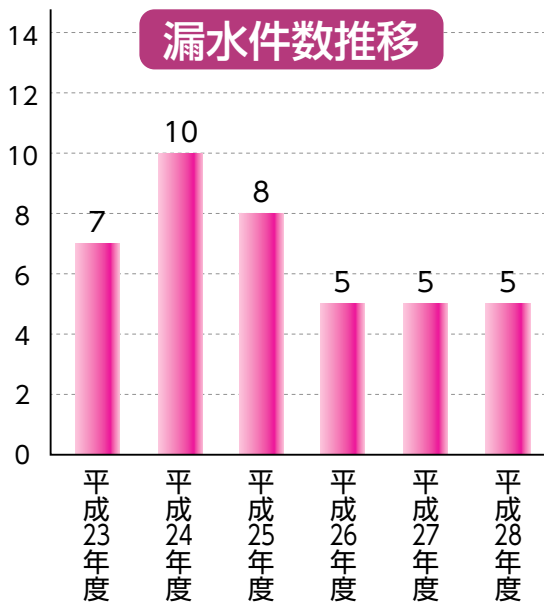
## 答 この夏より水質改善

**問** 本砂金の水道事業が布設後30年以上経過しています。取水量不足か、管の老朽化のため濁りと漏水事故が年間5件以上発生しています。課題の多い本砂金水道事業の暫定対策、恒久対策について伺います。

**答** 濁りの原因究明と対策について伺います。また新規布設の具体的計画はあるか伺います。

**答** 町長 取水量と供給量のバランスの崩れが原因と考えられます。この夏より試験的に水質浄化剤を変更してみました。

その結果濁りは改善しています。新規布設は青根第二の事業完了後、補助事業を活用した実施を計画しています。



# 問 ドローンで活性化を

## 答 利活用を検討

**問** ドローン※を活用している自治体があります。当町においても火山噴火、豪雨災害、火災時の確認調査や景観調査など多種多様に活用できると考えますが、また、関連産業の誘致にもなると考えますが見解を伺います。

**答** 町長

ドローンの技術革新を見守りながら行政での利活用を検討していきたいと考えます。また、関連産業についても調査し検討していきます。

※ドローンとは、最近注目されている小型無人機です。

**問** 丸森町ではすでに企業が取り組み活用しています。考えを伺います。

**答** 町長

丸森町へ調査のため担当職員を派遣し、検討したいと思えます。



神崎 安弘 議員



▲ドローンで撮影した湖畔公園

# 問 いかす会への支援は

## 答 PRなどは後方から支援

10月26日、議会と特定非営利活動法人「資源をいかす会」の意見交換会を行いました。いかす会は、森林資源をいかした安全な農産物づくりや、ごみの減量化など様々な活動をしています。

**問** 水車2号機製作を考えていますが、該当する補助事業及び町の支援策は。

**答** 町長

国・県の補助事業は採択が難しい状況です。町としても財政的に支援することは困難と考えます。

**問** 医療福祉センター北側「せせらぎ公園」に、水車設置を準備し活用する考えはありますか。

**答** 町長

町管理の公園ですが、園内に農業用水路がありますので設置する考えはありません。

**問** 資源をいかす意味で町ができるPR支援策はありますか。

**答** 町長

PRなどは町主導でなく、後方から支援するスタンスが大切と考えます。木製水車は珍しいことから、会の了解があれば観光資源の一つとして活用したいと思えます。引き続き連携しながらまちづくりを進めたいと考えます。



▲珍しい木製水車1号

## 問 町にとってのチャンス！

## 答 公園へ早速意見交換に



議員 要 場 的



▲あだこだ駐車場

**問** 湖畔公園への年間来場者80万人をどうやって町内へ呼び込むかが、これまでも大きな課題でした。町の総合観光窓口として、宮城山形間・隣接地域間連携を促進するための道の駅を建設してはいかがでしょうか。

**答** 町長

観光シーズン以外も通行車両が増えています。通過するだけでは何も落ちないのも事実で、町の中や観光施設へ人を誘導するすべが必要で、重大なプロジェクトだけに慎重にならざるを得ません。

**問** 先日、湖畔公園所長と意見交換し「湖畔公園の敷地内で、町が道の駅を設置するというのはどうでしょうか」という提案がありました。町にとって大きなチャンスだと考えますが。

**答** 町長

そういった内容を初めて聞きました。どういった内容なのか私も勉強しないと何とも言えませんので、早速所長のところに行つて意見交換をし、検討させていただきたいと思えます。

**問** インバウンド事業

についても町はもった力を入れていかなくてはならないと思えます。道の駅があれば、さらに広域連携が図られると考えますがいかがでしょうか。

**答** 町長

道の駅を建設することで、今ある直売所と競合したり、逆に川崎町に人が入ってこなくなったら、かえって逆効果になることも考えられます。どのような可能性があるのか、慎重に検討したいと思つていきます。

**問** 道の駅は、建設費やランニングコストがどれくらいか。しっかりと調査をし判断をしていただければと考えます。今回のチャンスを見逃し後悔することのないようにしていただきたいと思えます。

**答** 町長

定例会議終了後、早速公園所長とお会いして意見交換させていただきます。内容結果は、後日報告したいと思います。



▲提案された里山地区

## 問 空き家バンクの方向性は

### 答 実績を積み上げていく

「空き家バンク」は、平成25年から取り組み、定住促進に成果を上げてきています。これまでの成果等を踏まえ、今後は法律に沿った対応を充実することが必要との観点から、次の点について伺います。

**問** 今後どのような方向で取り組むのか、考えを伺います。

**答** 町長

現在、若者世代の定住化に努め、希望者の住まいの確保を主に行っています。町にとって人口減少や少子化に歯止めをかけ、活力あるまちづくりになるよう実績を積み上げていきたいと思っております。

**問** 各事業者と今後連携していく考えはありますか。

**答** 町長

町内の不動産業者と空き家対策の協議した経緯は過去にありまます。また空き家利活用にはリフォームが必要な物件もあることから、業者の紹介など連携を図っていききたいと考えています。



大沼 大名 議員

## 問 駐車場満車対策は

### 答 検診時は誘導策を講じる

**問** 医療福祉センター駐車場は、病院待合室や福祉センターがすぐれている場合でも駐車場が満車に近い状態があります。利用者にとっては非常に不便なときがあります。その対策について伺います。

**答** 町長

満車状態で駐車できないということは把握していません。検診事業期間の7、8月の10日間、10月の6日間、3月の6日間の22日間は、ご指摘のようになり特別なケースです。

**問** 確認のため何度か駐車場を見に行くと、待合室は混んでいなくとも確かに数台くらいしか駐車できないことがありますので、駐車時間のチェック調査などの考えはありますか。

**答** 町長

ご指摘のような状況のときは、隣接の各民間施設の駐車場を活用するなど、誘導策を講じています。今後、注意深くどのような状況なのかを調査し、対応を考えていきたいと思っております。



▲医療福祉センター駐車場



高橋 義則 議員

**問**

汚染廃棄物は焼却以外ないのか

**答**

一斉処理を進める方針を県から示す

川崎町では汚染された稲わら牧草など、多くの汚染廃棄物があります。11月3日に開催された市町村会議で、村井知事から放射能汚染廃棄物の焼却に関する説明がありました。その内容について伺います。

**問** 放射能汚染廃棄物を一般ごみとの混焼を県が進めています。処理の方法として焼却以外はないのですか。混焼を県が指導するのは、放射性物質汚染対策特措法に反するのではないのでしょうか。

**答** 町長

大量に処理を進める方法として、混焼する案が県から出されました。

焼却により全自治体が協力して一斉処理を進めていく方針で、県の指導のもと進めていきます。

**答** 農林課長

8000ヘクレル以下の汚染廃棄物を一般廃棄物という捉え方をすれば、指導して道筋を立てるのが県の立場ではないかと思えます。



▲保管されている廃棄物

**問**

スクールバス対象外児童の乗車は

**答**

ルートを変えて乗せることはない

スクールバスの運行は、安心して子ども通学ができるということが良いことだと思います。

**問** 対象になつていない児童も乗ることができよう、スクールバスを有効に活用して児童全員を乗せるルートの考えはありますか。

**答** 教育長

現在の運行は「川崎町スクールバス運行規則運行基準」で、スクールバス運行路線内であり遠距離通学4km以上の児童と定めています。運行ルートを変えてまでバスに乗せることは考えていません。

**答** 町長

スクールバスの路線外であれば、町民バスの利用も可能です。バスは無料になっていますので、ご理解をいただきたいと思います。



▲安全安心なスクールバス

## 問 学校給食の充実と減塩化を

**答** 現状は厳しいが高い品質に

**問** 市場価格では、夏の気象が影響し、葉物の野菜が高騰しています。賄材料の調達に影響しないか心配しています。現在の状況と今後の対応を伺います。

**答** 教育長  
現状は、価格変動が少ない安価の野菜を使い対応できています。

**問** 町民との意見交換会で「子どもたちに毎食温かいごはんを食べさせたい」と意見が出されました。このことについて見解を伺います。

**答** 教育長

調達は厳しい状況が続いていますが、栄養バランスを維持し、仕入価格の比較で給食費と材料費の調整を行っています。

**答** 教育長

このことは、「完全給食」となりますので、給食費の値上げや委託料の負担があります。

学校給食委員会・運営審議会で議論しながら、町財政の中長期の視点で考えていきます。

**問** 減塩化の取組みは。

**答** 教育長

町では、文部科学省が年齢ごとに定めている学校給食法の塩分摂取基準に従って献立を作成しています。栄養豊かでおいしく品質の高い給食の提供を心がけていきます。

**問** 例えば、本年度から実施されている「学校給食軽減事業」の事業費850万円の使途を2子以降半額支給、

残額を材料費として試算すると1食66円値上げした効果があります。米飯を賄うことも可能と思いますが。

**答** 町長

そのような試算もありますので、検討したいと思います。

**問** マイナンバー制度導入から約1年が経過しました。

**答** 町長

本年10月末で、申請は643件あり、交付完了は465件です。行政手続きで使用できるものは、電子申告・納税申請です。義務化の動きはありませんが、従来の社会保障・税・災害対策などで、個人番号記載の場面は増加すると思います。



佐藤 達也 議員



▲楽しい給食の時間

**問** 導入から一年の動きは

**答** 記載場面は増えている

# 追跡質問

以前の質問  
確認したい!!



眞幡 善次 議員

**問** どのような大会を目指すのか

**答** 町をあげての開催に

**答** 生涯学習課長  
主催は川崎町・町教育委員会・町体育協会で、協賛は町観光協会・商工会です。またコースはB&Gをメインに釜房湖畔を中心に行います。また規模は1500人を目標にしております。

**問** 9月議会に引き続きマラソン大会計画の進捗を伺います。前回は来年に向けて準備委員会を立ち上げて検討していくと回答があった。その後どのように推移しているのか、主催や協賛、規模などを伺います。

**問** マラソン大会をやる目的は。

**答** 生涯学習課長  
川崎町の歴史的な価値や自然の素晴らしさを全国的に発信するとともに、地域特産物などによる観光振興とランニングなどによる参加者の健康増進を図ることを目的にしています。

**問** 交流人口を増やして町活性化を図ってみたいが、町単独の開催では限度がありませんか。より多くの協賛を得て開催することがマラソン大会の成功につながると思います。町長の考えを伺います。

**答** 町長  
10月に開催予定をいたしました。県の復興マラソン大会が同時期ということもあり、町としてもどのような集客するか、また町をあげての大会にするよう検討しています。



▶マラソン大会で  
まちおこしを

## 共に学び切磋琢磨 視察来町

当町議会広報紙「かわさき議会の情報」の編集・発行を視察研修するために来町されました。

よりよい議会広報紙づくりのために、積極的な意見交換が行われました。

今後も議会広報紙に関する視察の依頼が寄せられています。

10月18日

秋田県三郷町議会様



11月14日

福島県天栄村議会様



11月1日

宮城県利府町議会様





# 研修レポート



## 全国町村議会広報研修会

10/25 東京都

### テーマ

- \* 読まれて・伝わる議会広報紙
- \* わかりやすく伝わる文章作成
- \* 優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集

▲真剣かつ熱気にあふれた会場

### 親しまれる

#### 広報紙作成を目指して

大沼 大名 委員

赤羽博之講師は「わかりやすく伝わる文書を作成する」ためには、  
・文章は短く  
・重複を避ける  
・具体的に書く  
ということを説きました。

また、豊田健一講師は「議会広報紙は、議会と住民の望ましい関係づくり」にあると大切さを訴えました。

改めて、委員会メンバーの様々な思いがあるなかで、紙面構成や掲載分を決めるとともに、いかに読みやすく、親しみのある紙面づくりを目指すことの大切さを、学ぶことができました。

### 文章は氷細工の

#### イメージで

高橋 義則 委員

「そもそも議会広報紙で何がしたいか」研修を受けて、次のことを学びました。

- ・議会を知ってもらう
- ・議会の役割を理解してもらう
- ・議員の想いと活動を共感してもらう

・共に行動し住み良い地域をつくるための紙面づくり  
・読む立場で読みたいくなる紙面づくり

・文章は氷細工のイメージで書く  
この研修での成果を広報編集のなかで、読み手が理解しやすい文章づくりに活かしていきたいと思えます。



▲クリニック各広報紙

## 県町村議会広報研究会

11/7 仙台市

### 読みたくなる

#### 広報紙を目指して

沼田 長一 委員

「読まれる広報紙の編集」の講習会が、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に迎え開催されました。講義と、全国コンクール上位入賞の広報紙を使つてのクリニックが行われました。

色使い、行間や写真の使い方についての具体的なアドバイスがあり、読みやすくするためのテクニックを習得できました。

今回の研修を、今後の議会広報編集に活かしていきたいと思えます。

# 10月議会

## スキー場に貸し付け 基本協定見直しも



10月会議は10月31日に開きました。  
提案された補正予算案件を審議し、原案どおり可決しました。

▲多くの来場が望まれるスキー場

### 一般会計補正予算 500万円追加

#### ■提案理由

セントメリースキー場が昨年雪不足のため大幅な収入減となり、継続して運営するための資金を管理事業者に貸し付けるものです。

#### 主な質疑

石野議員

**問** 直接融資を行うための条例およびルールなど説明願います。

#### 地域振興課長

**答** 地方自治法上は、条例その他要綱等の特別の策定義務はありません。

佐藤(新)議員

**問** 融資に対する返済期限は。

#### 地域振興課長

**答** 平成29年8月末日です。

神崎議員

**問** 地球温暖化などにより雪不足が懸念されます。スキー場の長期的な運営についての考え方を伺います。

#### 町長

**答** 夏場対策も検討しています。見通しがつけば示したいと思いますが、スキー場の存続についても意見交換を行い検討すべきと考えています。

石野議員

**問** 指定管理を8年間していますが、今回のような雪不足で資金難になるのでしょうか。

#### 地域振興課長

**答** 条件が良いときには町へ機械の寄贈や施設整備をしています。税の節減等も図りながら資金の留保ができていなかったということですので。

佐藤(達)議員

**問** 町との基本協定では管理業者との問題点など、さらに柔軟性を持つて整備すべきと考えます。また、利益が出たときには町に供託するなどの方策は考えられないですか。

#### 地域振興課長

**答** 利用料金は公設です。公益性、公共性があります。留保については、今回の状況を踏まえ、管理業者と相談しながら考えたいと思います。

生駒議員

**問** 指定管理料は以前1000万円だったと記憶しています。今後減額の見直しの考えはありますか。

**地域振興課長**

**答** 当時は燃料が50%近く値上がり、地元の小中学生などにもスキー場を利用してもらうことから600万円の値上げをしましたが見直すべきだと思います。



▲今シーズンは雪が降りますように

## 融資制度もないので

石野議員

町は節度を持って業者と等しく接しなければならぬと思います。業者には管理料を年間1600万円支払い、燃料代が下がってもそのままです。昨年は例年並みに役員報酬も支払っています。業者を選定するときに、社長の資産状況なども調べた上で行っていきます。特別な直接融資、制度もありませんので、業者が直接乗り切ってくださいということ、反対します。



## 雪不足は想定外

眞幡議員

今回の原因は怠慢経営によるものではなく、地球温暖化による雪不足から生じたものと考えられます。町活性化のため、また冬期間の就業・就労の場の確保という点で、これまでも努力を重ねてきました。オープンを間近に控え、資金不足が生じないように町としても最大限支援するのが当然ではないかと考えますので賛成します。

# 11月会議

11月会議は、11月22日に開きました。

提案された工事請負契約案件2件、財産の取得案件1件を審議し、原案どおり可決しました。

### ■提案理由

工事請負契約を締結したので、議会の議決にすべき契約および財産の取得、または処分に関する条例により、議会の議決を求めるものです。



(仮称) 北川原山町営住宅  
建築工事(1工区) 請負契約締結について  
契約方法……………総合評価落札方式による請負  
契約金額……………1億5660万円  
契約の相手方……………柴田郡大河原町字新南20番地の5  
(株)八重樫工務店 代表取締役 八重樫 司

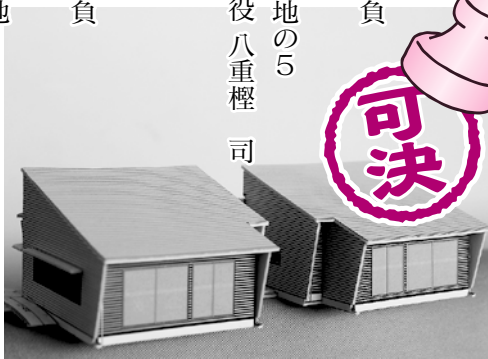
(仮称) 北川原山町営住宅  
建築工事(2工区) 請負契約締結について  
契約方法……………総合評価落札方式による請負  
契約金額……………8769万6000円  
契約の相手方……………川崎町大字前川字中原4番地  
柴田土建(株) 代表取締役 佐田 修一

### 財産の取得について

取得物件……………雪寒機械(除雪トラック)  
取得数量……………1台  
取得方法……………指名競争入札による契約  
取得金額……………1058万4000円  
契約の相手方……………岩沼市空港南四丁目1番4号  
三菱ふそうトラック・バス(株)  
東北ふそう仙南支店長 大浪 光男



▲取得する除雪トラック



▲住宅完成模型

# 総務 民生

11/16・17

山形県鶴岡市

(株産直めぐり)

(6次産業化)

山形県天童市

(ふるさと納税)

## (株)産直アグリを視察

### 6次産業化の

### 取り組み

遠藤 美津子 委員

町の特色を活かしたフルーツタウン構想の拠点として産直部門、加工部門、販売部門、レストラン部門などの運営により、活気ある地域づくりに取り組んでいます。

提供する商品には有名レストラン直伝のトマトケチャップやトマ

トピューレも製造し、オリジナルブランドとして好評のようです。事業計画には、果実収穫出荷体験ができる修学旅行の受け入れや、学校給食への地産地消の推進など、賑わいのある地域拠点となっていると感じました。

## ふるさと納税全国2位

沼田 長一 委員

平成25年度までは寄付申込件数がひと桁であったが、26年度は一挙に約6万件の申し込みがあった。27年度は32億円を超す寄付の申し込みがあり、件数では全国2位まで伸びています。

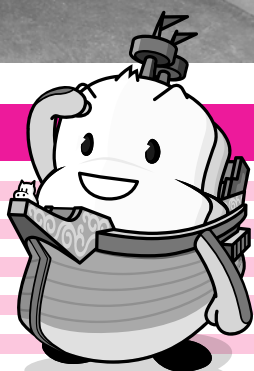
伸びた理由には制度の大きな見直しや「ふるさとチョイス」導入が大きな要因となつて

います。また毎年返礼品の見直しおよび追加募集を行っています。「ふるさと納税」に対する取り組みで官民一体で進んでいる印象が強い。寄付額増のために結団式を行っています。寄付の申し込み

の約9割が「納税サイト」を利用しているとのことであり、当町も早急にご利用すべきと考えます。



▲鶴岡市産直めぐり



# レポート



▲天童市役所での情報交換

# 産業建設 教育

11 / 7・8

新潟県関川村

(移動図書館事業)  
山形県朝日町

(まちづくり拠点  
施設・創遊館)



▲関川村図書室視察

## 広域連携による図書館

高橋 義則 委員

「村民誰もが均等な図書室のサービスを受けられるように努め、人々が豊かになる図書室づくりを目指す」の運営方針で、本の種類も豊富で広々とした図書室です。ホームページによる情報提供とインターネットサービスで、来館することなく村上市中央図書館\*のホームページから蔵書

# 委員会 研修

## 複合施設の中で…

神崎 安弘 委員

検索と予約および利用状況が確認できるなど利用者の利便性を図っています。また、村内を移動バスでの移動図書館が月に2回の割合で巡回しています。村民の方々に本に親しんでもらうためいろいろと工夫しています。\*

※村では広域行政である村上市中央図書館へ委託し、移動図書館も実施しています。

町民が読書を通じて知識や心の豊かさを習得するため、4万を超える本を蔵書としています。また、新刊本は毎週10冊程度購入し、年間約150万円予算化しています。新入児童には本に親しんでもらうため、利用者カードを配布するなど環境づくりを積極的に行っています。



▲朝日町創遊館図書館

平成28年度からは夜の図書館を実施「語りと音楽で楽しむ図書館」も始めました。庁舎と隣接する開発センター内に図書館などがありました。手狭になったこともあり「創遊館\*」が建設されました。しかしながら、運営財政面は厳しいようです。

町民の利便性を考

えながら利用率向上を図ることで、町民サービスへつながるものと感じました。

\*創遊館とは、公民館、図書館、文化会館、エコミュージアムコアなど文化交流拠点です。

# 総務民生委員会 報告

調査日 11月21日

## 町税等の収納対策状況

税の公平性の観点から、未納者に対しては今後とも厳しい姿勢で取り組み、徴収することを優先してください。また、折衝を強化しながら状況調査を行い滞納処分に力をいれることを望みます。生活困窮などにより

## 結果 積極的徴収と収納向上を

未納者への徴収は、生活状況を把握し催告・催告・再催告を基本に積極的に行っています。また、担税力を判断しながら対応しています。今後は、滞納額を増やさないために、滞納理由の分析を行いながら、預金・有価証券・生命保険・各

種団体の出資金・売掛金なども差し押さえ対象としてこれまでどおり積極的対応を望みます。また、新たな未納者や収納忘れが少なくなるように、次年度開始されるコンビニ収納の利便性向上に期待します。



▲納付書のサンプル

平成28年2月2日に調査を行い、下記のとおり委員会意見を提言しています。今回、その後の対応を検証しました。

### 調査事項

## 指定管理の状況 管理期間延長も視野に

### 【調査結果概要】

平成15年9月2日の制度施行により、町では公の施設（セントメリースキー場・るぼぼかわさき他・じゃっぼの湯他）を平成18年よ

り指定管理で運営しています。入込数・利用者数は、スキー場4万7000人から右肩上がりに増加し平成26年は6万7000人に、平成27年は雪不足の影響から3万7000人

と大幅に減少、るぼぼ1万7000人前後、じゃっぼは8万から9万人で推移しています。スキー場は3期連続赤字、4期連続赤字と経営に苦慮しています。るぼぼは全て赤字決算



▲早期再開が望まれる「るぼぼ」

でありますが、じゃっぼの湯は黒字決算が続いており、安定した経営状況となっています。

### 【委員会意見】

各指定管理事業者には指定管理料の支払いをしています。各事業所には、町と協議の上、利益を出す経営に努力していただき、指定管理料の交付を受けなくとも経営できる状態となることを望みます。そのため、現行指

定管理期間3年間で不安要素となること懸念されます。

指定管理期間は、事業者の不安である人材育成・資金計画・減価償却などを考慮し、5年間にすることも視野に基本協定の見直しを検討してください。

# 産業建設教育委員会 報告

調査日 11月24日

調査事項

## 平成27年9月豪雨災害の復旧状況 災害復旧早期完了を望む

### 【調査結果概要】

平成27年9月9日から11日にかけて断続的に降り続けた豪雨によって、河川等が氾濫し農地の浸食、道路や水路の崩壊など大きな被害が発生しました。

これまで、被災した河川や道路の土木施設の復旧状況については、平成28年9月末で全て完了しています。農地・農業用施設については稲の作付け等に支障があったことから、刈り取り終了後に復旧工事を実施している状況にあり、年度内完成を目指しています。



▶支倉地区法面復旧現場

### 【委員会意見】

平成27年9月関東・東北豪雨災害から1年を経過したことから、当委員会では被災箇所への復旧状況を現地調査しました。当町は自然災害が比較的少ない地域ですが、近年は異常気象により、豪雨が頻発するといった現象が起きています。

今回調査した工事箇所は、河川施工箇所で見られたカゴマット工法や水路施工箇所で見られたブロック積工法をはじめ、現場に適切な工法で復旧されていました。住民の安全を確保する上からも、

引き続き地形や地質などを調査し、再度被災を受けることがないよう復旧工事に取り組んでください。

また、災害復旧事業はこれまでにおおむね完了していますが、工事進捗中の箇所もあるので、平成29年の作付けに支障のないよう早期完了を望みます。



▲支倉地区水路復旧現場

# 町内企業の支援から まちづくりへ

11月24日、商工会との  
意見交換会を開催しました。  
ここでは主な意見を紹介します。



## 商工会との意見交換会 11/24

### 条例制定を早期に

#### 議会

県は既に、中小企業等の企業振興に関する条例制定をしています。できるだけ早くつくるべきだと思います。

#### 議会

現在、町民バスは商店街の利用につながっているのですか。

#### 商工会

高齢者が町民バスを利用して買い物などに来ているので、今後とも継続していただきたい。

#### 商工会

大型店と地元小売店との利用割合が開いてきているので、次年度も予算化するのであれば、大型店用・地元小売店用に分けて発行してはどうかと考えています。

#### 議会

2割増し商品券は、商店街振興のために発行しています。恩恵を受けていないという声がありますので、地元商店に限定し発行してはどうですか。

#### 商工会

お客さまに対する「おもてなし」が大切だと思います。商品券を利用したときは、スタンプを2倍、3倍にしているの、スタンプでの楽しみも行っていきます。



▲昨年発行したプレミアム商品券



# 今から なじよする?

## 感謝を込めて



さとう まさふみ  
佐藤 大史さん  
(本砂金)

4月から本砂金の山奥に移住し、農家1年目です。地元の方々に助けられ、幸せな日々を過ごしています。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

アジアを中心に長く旅をしてきました。様々なところに行きましたが、僕は東北の自然が大好きです。しんと降りる雪。春の暖かな日差し。夏の緑。秋の空の美しさ。人々の日々の営み。皆さんが思っている以上に美しいです。



▲新しくハウスも建てました

今ここ、川崎町から。もっと皆がつながって皆が協力し合えたら。一人ひとりが輝き、自由に自己表現ができる、そんなすてきな場所になると感じています。有機農家の仲間と、オーガニックマーケットを旧本砂金小で毎月開催を予定します。皆さまのお越しをお待ちしています。

## 碓石川に河川敷公園を



まかべ かずよし  
眞壁 一良さん  
(碓石)

国道286号碓石・赤石間の着工が平成30年と決まった。歴代の町長と町民が粘り強く続けてきた運動が、やっと報われるときがきたのだ。

隣接の仙台市民から見ると、曲がりくねった山間部の、特に冬道が凍って怖い道路を通る農村地帯の川崎町。そして釜房湖と、みちのく公園があるところぐらいのイメージしかない。それが一変するのは間違いない。

そのときに備え、国道沿いの碓石川に「河川敷公園」を整備することを提言したい。



▲清流よ、いずこ

以前は県内有数の魚の宝庫で、昭和天皇にアユを献上したほどの清流だった碓石川の現状は、無残なほどの荒れようだ。

碓石橋の上流には適地もある。国・県・仙台市が力を合わせて、快適なドライブと景観で来訪者をお迎えできるように、ぜひ実現をお願いしたい。

# お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は3月7日(火)  
一般質問は3月8日(水)・9日(木)  
午前10時、再開の予定です。

### 議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は10月会議0人、11月会議1人、12月会議9人、ライブ中継は118アクセスでした。)

詳しくは、  
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111  
(内線1302)

## 私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



## 町の風景



「初日の出に願う」川内朴ノ木

撮影 コラボレーター佐々木和人氏

## 町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明「**「Jリーガーを夢みて」**  
はっけ  
**FCアズマーレかわさきの初蹴り**  
撮影 コラボレーター佐々木和人氏



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会  
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1  
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789  
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp  
印刷 株式会社津田印刷